

六中だより

令和3年12月1日発行

教育目標

- ・自らすすんで学ぶ人
- ・健康で心豊かな人
- ・責任を果たす人

立川市立立川第六中学校

校長 加藤 隆司

立川市泉町786-16

TEL 042-537-3195

FAX 042-534-6954

URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh06/>

1年116名(男子64名 女子52名) 2年112名(男子59名 女子53名) 3年110名(男子59名 女子51名)

◆12月の重点目標「お互いを大切にしよう。2学期のまとめをしよう。」

「六中生現在向上中」

校長 加藤 隆司

世間ではオミクロン株（コロナ感染症）の情報が大きく取りざたされ始めました。ようやく学校生活も通常に近い状況になってきたところでしたので、大変心配しています。

政府や行政がとる対策はいろいろ考えられますが、学校においては従来の感染防止対策を徹底しながら授業を進めることになると考えています。ただし、今後の状況によっては、学校公開や部活動に関して以前のような制約を再び設定せざるを得なくなるかも知れないと心配しています。その際にご理解ご協力をお願いいたします。全国でも100名を切る発症者数にまで減少していたので、通常の学校教育にいつ戻せるかと期待していたところでしたが、どうやらしばらく慎重に生活していく必要があるようです。

気候も寒い時期となり、教室でも窓を全開にしての換気こそできませんが、換気を心掛け、手洗いうがい、消毒、三密の回避、マスク着用を改めて呼びかけ予防に努めたいと思います。どれだけの感染リスクがあるのかオミクロン株だけでなく、状況や報道を注意して見守りながら対応します。また、最近はお出かけたり飲食を仲間とする機会が増えたりしているようです。十分な感染予防体制をとるようお願いいたします。引き続き感染予防に、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、コロナ感染防止の努力を続けながらも、出来るだけ通常に近い学校生活を送ってもらおうと、努めてきたところですが、学校での生活の様子や、教員の指導の場面、生徒が頑張っている姿を見ていただくことが減っていることの影響があるように感じます。学校の様子をみていただく機会が減ったため知っておいていただくことや、教員が生徒とどのような関係性を作ったうえで指導をしているのかわかっていたかにくくなっていると感じます。公開授業もできていない中で、お子さんから入る情報だけでは不安が増すのかなと感じています。

12月4日（土）には今年度初めての授業公開を行います。感染防止の視点から教室や廊下での会話は避けていただき、体調の悪い方はご遠慮いただきますが、密にならないよう移動しながら、校内の様子をご覧いただきたいと思います。生徒達は頑張っていますし、中学生らしい交友関係を保っています。休み時間の様子もご覧いただけると良いかと思えます。年齢が増す毎に親が来ることは敬遠するようになるものですが、久しぶりの公開ですし頑張っている様子をご覧いただく機会としてご活用ください。「もっと〇〇すればいいのに」とか「できるでしょ」よりは、頑張っていることを評価し褒める視点での感想が大切だと思っています。生徒も更に頑張る気持ちが高まるのではないかと思います。

先日、立川めぐりを1年生が実施し、よく頑張って行動していました。多くの事業所にご協力いただき仕事のご説明や見学をさせていただきました。感謝申し上げます。生徒も頑張っていました。また、11月5日（金）には2年生が鎌倉校外学習を実施し、これもまた意識の高い行動をとっていました。着任以来「当たり前前のレベルを高め、伝統を誇りに思う校風づくり」を目指してきましたが、向上しようと努力するレベルが高く維持されるようになったと感じています。

さて、12月に入りもう少しで2学期も終了します。振り返ると大変な数の感染者数の中スタートした今学期でしたが、感染者の減少につれ生徒の皆さんの頑張りのおかげで学習でも行事でも成果を上げながら12月を迎えられました。3学期までの間、学習で成果が上がっていない人は、通知表や返された答案を参考に、克服するようにしてください。そして、3学期は上級生に上がるための準備としてクラスメイトとの人間関係作りを学び、新年度に伝統を支えるひとりとして生活できるように準備する学期としましょう。くれぐれも怪我や事故・事件に気を付け、笑顔で新年と始業式を迎えましょう。

11月3日(水)文化の日にたましんRISURUホールにておこなわれた第41回 立川市中学生主張大会にて、本校の3年B組の永島 花菜さんが『平和な社会』を発表し、見事『青少年問題協議会会長賞』を受賞しました。また、2年C組の須藤 美菜さんが『助け合い』で『優秀賞』を受賞しました。

『青少年問題協議会会長賞』受賞



「平和な社会」

永島 花菜

私はときどき、平和な社会とは何か、疑問に思うことがある。十五年間、平和という言葉は幾度となく聞いてきたが、平和な社会の実現への具体的な解決策を知らない。そこで一つ、私が思う平和へ近づくための解決策について述べようと思う。

この世には、何十億人という人間が暮らしている。皆同じ人間であるが、一人一人持っているもの、ものの感じ方、価値観などは全くと言っていいほど違って、皆一人の人間としての“個性”を持っている。そのため、この世に価値観の合わない人間が存在するのは、当然のこと、と言えるだろう。だから人間は、いじめや離婚、民族間での争いなどの“すれ違い”を起こすのだと思う。

風貌を例に挙げて考える。世界には、千差万別という言葉があるように、様々なファッションやヘアメイク、それぞれ異なる顔や体型が、何十億とある。周りとは一風変わった個性的なファッションやヘアメイクをして自分の人生を楽しんでいる人や、好きな自分、自信の持てる自分になるために、沢山努力をしている人はこの世に幾多といる。その一方で、そんな人たちの個性を認めずに、否定的な意見を持つ人間も、子供大人含め少なからずいるだろう。

私は、一人一人互いに個性を認め合うことの出来る世の中になれば、平和な社会に一步近づけるのでは、と考えた。互いが互いを認め合い、有効な関係を築くことが出来れば相手の様々な部分を受け止めることが出来ると思う。そうなれば、多少のすれ違いはあっても、前に挙げた例のような、いじめや争いなど、人間同士の大きなすれ違いは格段に減ると思うからだ。

“十人十色”という四字熟語がある。これは「十人いれば十の個性があることは然るべきであり、個性は、否定するものでもされるものでもない」ということを意味する。個性は誰しものが持っているものであり、誰しものが失ってはいけないものである。つまり、この世に必要な個性など一つもないのだと私は思う。

この世に“平和”という言葉は存在するのか。歴史の授業を受けるたびに考えてしまう。平和とは「戦争がなく、世の中が穏やかなこと。また、心配やもめごとがなく、安らかなこと。」である。日本では毎日、コロナや事件、事故など、平和とは程遠い話題でニュースはもちきりだ。紛争が起きている国、貧しい国、富んでいる国など、その国その地域の情勢は様々で、たとえそれがめまぐるしく入れ替わっても、目の前に漂う課題は変わらないままだ。一人一人文化も違えば、言語や伝統も違う。全く同じものなど無い。そんな私たちが共存して暮らしていける社会、平和への道筋をつくるには、それぞれが平和の意味を理解し、お互いがお互いを尊重し合い、認め合い、支え合い、自分らしく生きていくための空間作りが必要だと思う。それが果たされたとき、初めて“平和”という言葉が具体的な意味を持ち、平和な社会へ一步近づくのでは、と私は思う。

『優秀賞』受賞



「助け合い」

須藤 美菜

二か月前、私が立川駅近くを歩いていると点字ブロックの上に自転車が停められていて行き先が分からず立ち止まっている目の不自由な方がいました。私はその姿を見て声をかけ自転車を点字ブロックからどかさうかと考えました。しかし、私はそこで迷いました。目の不自由な方がその後よけて歩くかもしれないし他の方が助けて下さるかもしれないと思いました。そして、私は恥ずかしい気持ちもありました。だから様子を見ることにしていると、誰も自転車をどかしたり声をかけることはありませんでした。目の不自由な方が棒で点字ブロックに何かあるのか探っていると棒が引っ掛かり自転車が倒れ、周りの自転車も倒れてしまいました。私はその時、恥ずかしがらずに声をかけたり最初に自転車をどけていれば倒れずに済んだのではないかと後悔しました。

それから一か月後、電車に乗る際に階段でベビーカーをどのようにホームまで運んでいこうか困っている方がいました。私はこの前のように迷ってやらずに後悔しなくなかったので勇気を出して声をかけると、やはり困っているようでした。私はベビーカーを持って一緒に階段を登るとたくさんお礼を言って下さいました。この前の目の不自由な方に声をかけることができなかったのは、自分以外の人にやってもらおう、自分の行動が正解なのか、もっと良い方法があるのではないかと思ったからだと思います。ですが、困った時や困っている方がいる時の正解なことというのは私が思うよりもたくさんあるのではないかと感じました。反対に良くないと思うのは解決策がたくさんあるのにただ見ているだけのことです。と言ってもむやみに声をかけることが良い訳ではないので冷静に判断したいです。

このような、二つの体験から学んだのは、やらずに後悔するよりもやってから後悔する方が良いということです。また、自分の身の周りで自分が手伝ったり、助けることは気付かないだけでたくさんあると思います。

例えば、相手が一人ではできないことは自分も一人ではできないと思います。しかし、二人でやればできることや反対に自分が助けが必要な時も同じです。自分がやるには恥ずかしいと思うこともあります。私は恥ずかしいと思い、行動に移せず後悔してしまったことがありました。自分が助けてもらったこともあります。例えば、自転車で乗っていて転んでしまい、荷物が一人で拾えない位に散らばってしまったとき。そこで、周りの人が一緒に拾って下さり助かりました。私が周りの人だったら見ていただけだったことも恥ずかしいと思わずに助けることは私のような小さなことでも同じです。自分にできることを行うのが大事です。

今、コロナウイルスの感染が拡大する中、このようなことは命に関わってくることもあります。この経験を生かし冷静に判断していきたいです。

鎌倉校外学習（2年） <11月5日(金)>

鎌倉の歴史や文化に触れることで知識や教養を深めることに加え、修学旅行につながる学習として、班行動での協力や公共マナーを身につけること等、とても良い経験ができました。



立川めぐり（1年） <11月25日(木)>

立川市の歴史や文化・産業について、実際に見て学び、また、班行動を通して協力することや責任感をもって行動することができました。

ご協力をいただいた多くの事業所の皆様、ありがとうございました。



生徒の活躍

○第74回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会
第7位 女子3年 800m 2分28秒52 鈴木 結衣 さん(3C)

【冬季休業期間について】

12月25日(土)～1月10日(月)まで

【冬季休業期間中の留守番電話対応時間】

<平日> 午後4時45分～翌午前8時15分まで
<休日・学校閉庁日等> 終日

【学校閉庁日について】

12月29日(水)～1月3日(月)まで

年末年始は、親戚等で集まる機会が多くあるかと思いますが、感染防止対策をとり、気をつけて過ごしましょう。

【感染症基本行動3か条】

- 3つの密を徹底的に回避する
- 正しいタイミングと正しい方法での手洗い励行
- マスクを着用し咳エチケットを心がける。

【12月の予定】

- 1日(水) 三者面談始(3年) 整形外科検診 桜並木清掃
- 2日(木) 桜並木清掃
- 3日(金) 中央委員会
- 4日(土) 学校公開 新入生保護者会説明会② 保護者会④(1・2年)
- 6日(月) 生徒会朝礼
- 10日(金) 三者面談終(3年)
- 13日(月) 表彰朝礼 進路会議(3年)
- 14日(火) 美化コンクール
- 15日(水) 私立入試相談(3年) (美化コンクール)
- 16日(木) 避難訓練 美化コンクール
- 17日(金) 避難訓練予備日 美化コンクール
- 20日(月) 第3期時間割始 授業アンケート
- 23日(木) 給食終了 大掃除⑤
- 24日(金) 安全指導 終業式③
- 25日(土) 冬季休業日始(～1月10日(月)まで)

《12月のスタディールーム》

<1・2年対象>

2日(木)・6日(月)・7日(火)

9日(木)・13日(月)

<全学年対象>

14日(火)・20日(月)・21日(火)

※予定は急遽変更になる場合があります。ご了承ください。

【1月初旬の主な予定】

- 10日(月) 冬季休業終
- 11日(火) 始業式 安全指導 休み明けテスト②③④
- 12日(水) 給食開始 校内書初め展始
- 13日(木) 専門委員会
- 14日(金) 漢字検定
- 15日(土) 総合発表会(1年)

※予定は急遽変更になる場合があります。ご了承ください。

今年もお世話になりました。良いお年をお迎えください。

※12月29日(水)～1月3日(月)は学校閉庁日です。